

令和5年度農高・農大就農促進対策事業

事業主体名 鹿児島県立伊佐農林高等学校

1 目的

地域農家に対する援農活動，地域農産物PRイベントでの体験学習，さらに先進的農家や農業大学校等の視察研修を通して，地域の農林業及び関連産業への興味・関心をさらに高め，就農意欲の向上を図る。

2 実施状況

(1) 地域農家との協働・交流の実施

農業クラブ役員（3年生4人，2年生3人）が中心となり，農林技術科全学年（38人）で，農林館祭りを開催した。4月「春の農林館祭り」は野菜苗・草花をメインに開催した。12月は，生活情報科や大口高校も参加して「シン・農林館祭り」として開催した。また，当日は，林業専攻班による高性能林業機械操作競技会や体験ブースも設け，農業生産活動に対する魅力の再発見と，お客様との交流をとおしてコミュニケーション力の向上を図った。実習生産物に関する外部評価をお客様から直に獲得でき，学習意欲の向上につながったようである。



実習生産物販売会の開催

(2) 学習の成果披露イベントへの参加

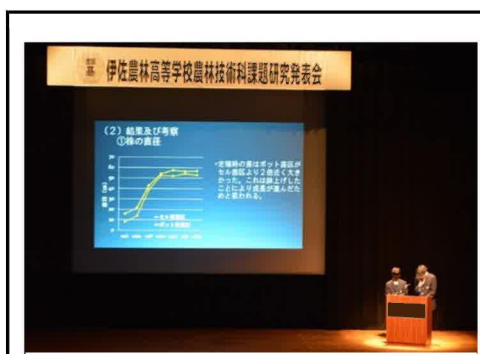
大畜産専攻班では，2年生3人，3年生3人が，県畜産共進会高校生等出品区に出場した。中小家畜専攻班では，2年生1人，3年生3人が黒豚原種豚市場や黒豚フェア等に参加し，黒豚の販路拡大や種豚継承に取り組んでいる。園芸専攻班では，2年生4人，3年生3人がかごしま国体や総文祭の草花装飾で会場を彩った。食品加工専攻班では，おいしいもの選手権惣菜部門で入賞するなど積極的に商品開発に取り組んでいる。伊佐ふるさと祭りの販売ブースでは園芸専攻班，食品加工専攻班による生産物販売が行われ，地域に対し農業の魅力発信を行った。



県畜産共進会高校生等出品区出場

(3) 課題研究発表会の実施

伊佐市文化会館大ホールで課題研究発表会を行い，農林技術科1～3年生（38人）が参加した。発表は2・3年生の専攻班ごとに行い，進級後の専攻班の選択材料にするため1年生もすべてを視聴した。伊佐副市長をはじめ，市農政林務課，地域おこし協力隊，始良・伊佐地域振興局から多くの関係者にご出席いただき，本校生徒の学習成果を披露できた。今後の地域活性化につながる第一歩になったように感じる。また，発表後はそれぞれの研究内容をまとめ，課題研究集録の掲載原稿を執筆した。発表および原稿執筆の過程で，データ分析や説明資料作成に関する知識・技能を習得し，専門教科の学習成果に対してさらに自信を深めたようである。



課題研究発表会

3 今後の課題，取組

農林技術科では，2年生から園芸・大家畜・中小家畜・食品加工・林業の5つの専攻班に分かれて学習を行っているが，令和5年度入学生より2年次から農業類型と林業類型に分かれて，より専門的学習に深みを持たせる学習活動を行っていく。そのため，より一層，関係機関との連携を図りながら，地域の農林業が抱える課題を見極め，それを主体的に解決する能力を育むとともに，体験的学習により得られた知識や技術を十分に生かすことのできる進路選択につなげたい。

地域密着型の伊佐農林高校スタイルを引き続き実施し，地域農家との交流活動や各種イベントにおける地域農産物のPR活動，先進的農家および農業大学校での視察研修などで，社会性や指導性を養って行きたい。今後も先進的な取り組みを模索しながら，地域農業の窓口的存在として積極的に学習活動を行って行きたい。